

本郷中受験 必勝ガイド

本郷中に逆転合格するための 家庭学習法

「なぜ、大手の集団塾に通っているのに本郷中の過去問で点数が取れないのか？」

本郷中学校の入試問題は、基本から標準レベルの知識の確実な定着に加え、膨大な情報処理のスピードと、ひねりの利いた思考力が要求されます。一般的なカリキュラムをこなすだけでは突破できない、本郷中特有の「壁」を乗り越えるための戦略を本書で明かします。

集団塾の限界と、過去問直しの真実

大手集団塾のカリキュラムは「平均的な受験生」向け。特定の学校のクセを網羅することは困難です。

志望校別特訓が本格化しても、クラス全体の進度に合わせる必要がある集団塾では、お子様が本郷中の過去問で「なぜ間違えたのか」という個人固有の原因にまで踏み込んだ指導は期待できません。本郷中の合格を勝ち取るためには、ご家庭での過去問直しの質を劇的に高める必要があります。

家庭で今すぐ見直すべき、過去問直しの3つのチェックポイント

POINT 1

失点原因を「知識・時間・思考」の3色に色分けする

間違えた問題の横に、マーカーで色を塗ります。知識不足（赤）、時間が足りなかった（青）、問題文の条件読み落としや思考ミス（緑）。これを行うことで、お子様の本当の弱点が「暗記」にあるのか「処理スピード」にあるのかが可視化されます。

POINT 2

合否を分ける「Bランク問題（正答率40～60%）」の直しを最優先にする

本郷中の入試において、誰も解けないような難問（Aランク）を解く必要はありません。大問の(1)や小問集合など、受験生の半分以上が正解する問題を確実に仕留めること。直しの時間をここに集中させます。

POINT 3

「解説を読んで終わり」にしない、2日後の白紙再現

解説を読んで納得したものは「理解した」だけで、「解ける」状態ではありません。2日後、何も書かれていない真っ白な問題用紙を用意し、自力で最後まで立式・記述ができるかを確認してください。これが本当の過去問直しです。

最短ルートで本郷中合格へ：Soleadoの完全個別指導

過去問の分析や日々の家庭学習の管理を、保護者様だけで進めるのは非常に大きな負担となります。「どこが本郷中の頻出分野なのか」「あと何点あげるために、どの単元を補強すべきか」をプロの目で見極め、残り期間で無駄のない最短ルートを構築するのが、**個別指導塾 Soleado** です。

Soleadoが本郷中受験に強い理由

- **完全1対1のマンツーマン指導：** お子様の過去問の答案から、思考の癖や弱点を瞬時に見抜き、その場で修正します。
- **本郷中に特化した専用カリキュラム：** 四谷大塚や日能研、SAPIXなどの集団塾のテキストも活用しながら、本郷中の出題傾向（スピード重視・図形・抜き出し等）に合わせた補強を行います。
- **家庭学習の徹底サポート：** 塾にいる時間だけでなく、家で「何を」「いつまでに」「どうやるか」を細かく指示するため、家庭学習の迷いなくなります。

【本郷中受験対策】無料体験授業&過去問分析カウンセリング受付中！

今なら、お子様が実際に解いた**本郷中の過去問（1年分）**をお持ちいただければ、当塾のプロ講師がその答案を徹底的に分析します。どこで失点しているのか、あと15点あげるために必要な家庭学習の改善点を具体的にアドバイスいたします。

無料体験授業・カウンセリングに申し込む

4. 教科別 傾向と対策：国語

文章量が非常に多く、スピーディーな情報処理と正確な読解力が求められます。まずは本郷中の国語の基本情報を押さえましょう。

試験時間・満点	主な出題構成
50分 / 100点	大問3題構成（漢字の読み書き、論説文・説明文、物語文・小説）

出題傾向の詳細

- ・**膨大な文章量**：試験時間に対して読むべき文章の総量が多く、速読力と、読みながら要点を整理する力が必須です。
- ・**抜き出し問題の多さ**：本文中の言葉をそのまま書き抜く設問の比率が高く、「どこに何が書かれていたか」を正確に記憶・検索する能力が問われます。
- ・**難解なテーマ性**：論説文では小学生には抽象的で馴染みの薄いテーマ（倫理や近代社会論など）が選ばれる傾向があります。
- ・**編集型の記述問題**：自分の意見を述べるのではなく、本文のキーワードを指定の文字数に過不足なくまとめる「要約・編集型」の記述が出題されます。

具体的な家庭学習対策

① 語彙・言葉の意味の強化

抽象的な文章に読み負けないう、日頃の読書やテキスト演習で出てきた難解な語彙は必ず辞書で確認し、ノートに蓄積しましょう。

② 印をつけながら読む「マッピング読解」

抜き出し問題の手がかりを素早く見つけるため、意味段落ごとの要点や、接続詞（しかし、つまり等）、筆者の主張に必ず線を引く習慣を徹底させてください。

③ 記述は部分点をもぎ取る練習を

白紙は絶対にNG。設問が求めている要素を本文から探し出し、それらをパズルのように繋ぎ合わせて記述を形にする練習を繰り返します。

5. 教科別 傾向と対策：算数

算数は合否を最も大きく分ける最重要科目です。問題の配列が毎年ほぼ固定されているため、対策の成果が出やすいのが特徴です。

試験時間・満点	主な出題構成
50分 / 100点	大問1：計算・逆算 / 大問2：小問集合（5問程度） / 大問3～：大型問題（思考力・応用）

出題傾向の詳細

- ・ **大問2（小問集合）の重要性：** 単純な一行問題ではなく、ひとひねりされた「ワンランク上の標準問題」が並びます。配点が高いため、ここでの失点は命取りになります。
- ・ **最頻出の4大単元：** 「速さ」「グラフの読み取り（水量・動点など）」「図形（平面・立体）」「数の性質」が毎年必ずと言っていいほど出題されます。
- ・ **誘導形式の大問：** 後半の大問は、(1)の答えや考え方が(2)や(3)の大きなヒントになっているケースが多く、出題者の意図（誘導）に乗る柔軟性が必要です。

具体的な家庭学習対策

① 朝の計算・小問演習のルーティン化

大問1・2で満点を取るため、毎日時間を計測して「一行問題集」に取り組み、処理のスピードと正確性を極限まで高めます。

② 過去問10年分による「本郷パターン」の網羅

速さのグラフや立体の切断など、本郷中が好む切り口を過去問演習（最低10年分を推奨）を通じて体に染み込ませます。

③ 「捨てる」見極めの戦術訓練

過去問を解く際は「制限時間内に合格最低点を取る」意識を持たせ、時間がかかりそうな複雑な立体図形などを後回しにする判断力を養います。

6. 教科別 傾向と対策：理科

理科は4分野から満遍なく出題されますが、暗記だけでなく「読解力」と「計算力」の双方が高いレベルで要求されます。

試験時間・満点	主な出題構成
40分 / 75点	物理・化学・生物・地学の4分野からそれぞれ大問1題ずつ（計4題）

出題傾向の詳細

- **物理・化学の計算重視：** 水溶液の中和計算、ばねやてこの力学計算など、骨のある計算問題がほぼ毎回含まれます。
- **長いリード文と初見のテーマ：** テキストに載っていないような実験や現象が題材になることがあります。その場合、長い問題文の中に必ずヒントやルールが書かれており、それを読み解く力が試されます。
- **時事・環境問題のリンク：** 最近話題の科学ニュースや環境問題、天文現象（日食や彗星など）に関連した出題が目立ちます。

具体的な家庭学習対策

① 物理・化学分野の典型計算の完成

まずは塾のテキストにある典型的な計算問題（中和の比の計算、電流と抵抗など）の解法パターンを完全に自動化（見た瞬間に手が動く状態に）してください。

② リード文の「条件抽出」トレーニング

初見の実験問題に怯えないよう、過去問を通じて「問題文の中にある、実験のルールや数値の関係性」にアンダーラインを引き、整理しながら解く練習を積みみます。

③ 科学ニュースへのアンテナ

日頃からニュースや子供向け新聞に目を通し、その年の時事的なテーマ（環境破壊、宇宙探査など）について親子で会話する機会を持ちましょう。

7. 教科別 傾向と対策：社会

社会は非常に問題数が多く、極めて高い処理能力が必要です。「広く・深い知識」をどれだけスピーディーに引き出せるかが勝負です。

試験時間・満点	主な出題構成
40分 / 75点	地理・歴史・公民の各分野。またはそれらを融合させた総合問題。

出題傾向の詳細

- **圧倒的なスピード勝負：** 試験時間に対して設問数が多く、迷っている時間はありません。一問一答レベルの知識は瞬時に解答する必要があります。
- **漢字指定の用語記述：** 記号選択だけでなく、重要な歴史人物や地名、公民用語を正確に「漢字」で記述させる問題が多いです。
- **地形図の読み取りが必出：** 地理分野では、実際の地形図（2万5千分の1など）を用いた読解や計算問題がほぼ毎年出題されます。
- **時事問題と分野の融合：** その年の重大なニュースを発端として、そこから歴史や地理の知識へ派生させる総合問題が頻出です。

具体的な家庭学習対策

① 漢字での即答アウトプット訓練

コアとなる重要語句は、口頭での確認だけでなく、必ず「書いて覚える」こと。トメ・ハネまで正確に書けないと本郷中の採点ではバツになります。

② 地形図の定番ルールのマスター

地図記号、等高線の読み方、実際の距離の計算（縮尺の計算）など、地形図の基本ルールは秋までに完ペキにしておきましょう。

③ 総合重大ニュース教材の徹底網羅

秋以降に発売されるサピックスや四谷大塚などの「重大ニュース」教材をボロボロになるまで繰り返し読み込み、関連する歴史的背景や地理的特徴を紐付けて覚えます。